

富秋
中学校

池上 幸
小学校 小学校



富秋中学校区
施設一体型の小中一貫校
に関する説明会



2020.10

本日の予定

1. 富秋中学校区等まちづくり構想について
2. 施設一体型の小中一貫校について
3. 富秋中学校区の小中一貫校イメージ
4. 跡地利用について
5. ミライの学校を創るプロジェクトメンバーより一言
6. 質疑応答

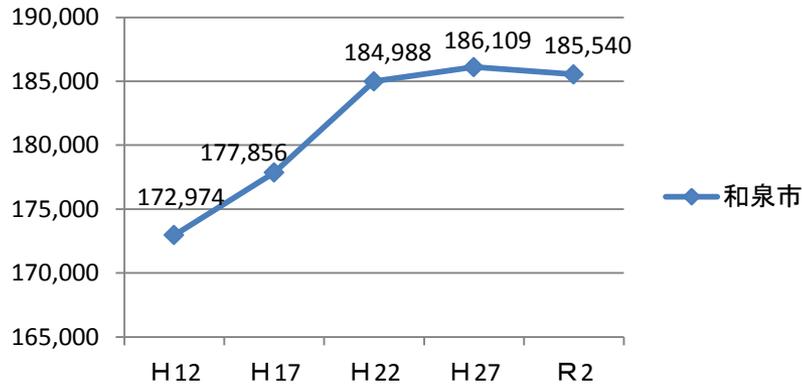
富秋中学校等まちづくり構想

地域の現状

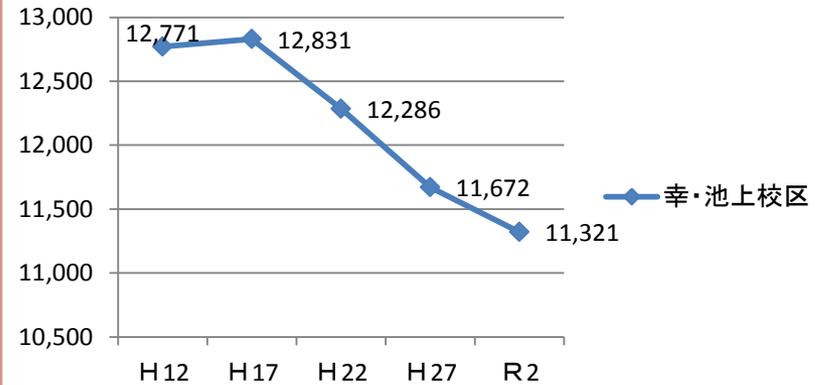
1. 市営住宅など多くの公共施設があるが、老朽化が進んでいます。

2. 地域人口が減少し、高齢化が進んでいます。

和泉市全体の人口推移



幸・池上校区人口推移



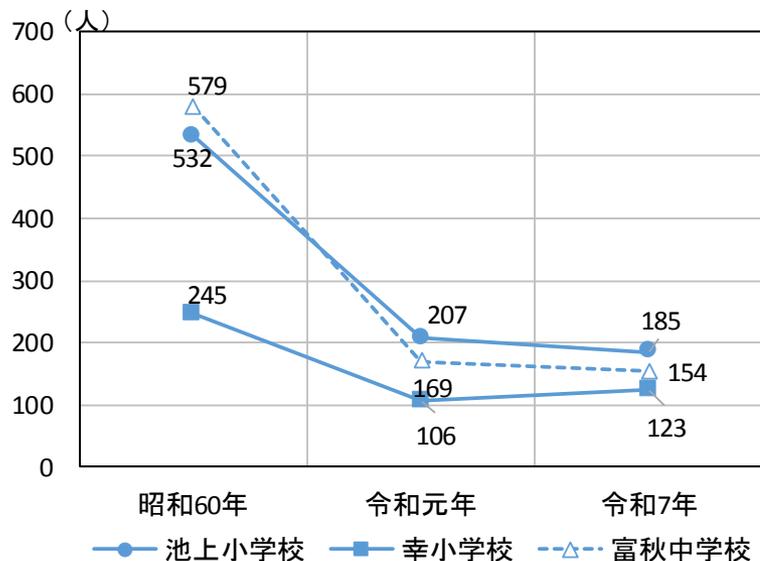
現在の人口（令和2年7月末時点）は、平成12年の人口の、**88.6%に減少**しており、今後も減少していくことが予測されている。和泉市全体の人口推移と比較しても、減少率が顕著であることが明確です。

幸・池上校区の高齢化率については、**約28%**（令和2年7月末時点）となっており、和泉市全体の高齢化率約25%と比較しても高く、今後も上昇していくことが予測されています。

地域の現状

3. 児童生徒数が減少し、1学年1クラスが多く、1学年11人という学年もあります。

【児童・生徒数推計】



【令和2年度 学級数・児童生徒数】

	学級数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
池上小	6	21	32	41	33	33	38	198
幸小	6	14	18	18	16	11	27	104
富秋中	6	44	39	70				153

※昭和60年と比較すると児童生徒数は約1/3にまで減少しており、小学校では全ての学年が1学級でクラス替えができない状況です。

富秋中学校についても加配を活用するなどして複数学級を維持していますが、望ましい教育環境の確保について検討が必要な状況が続いています。

まちづくり構想でめざす方向性

1. 老朽化する公共施設の更新を図ることにより、地域の魅力を向上させ、地域の活性化をめざします
2. 地域の人口、子どもたちの人数の増加をめざします



公共施設の集約・建替等で
うまれた余剰スペースを活用
→ 民間事業者へ売却又は貸付を
行い、まちに必要な機能を誘致

施設一体型
義務教育学校の設置
→ 適正規模の確保
→ 9年間の系統的な教育課程

↑ まちの魅力づくりにも資する ↓

施設一体型義務教育学校 (小中一貫校)

富秋中学校敷地を活用し、
富秋中、池上小、幸小を統合した
新しい学校の導入をめざします

旭公園・和泉第一団地敷地内 市営住宅集約・建替え及び 多世代交流拠点

市営住宅の集約・建替えに合わせ、
同敷地内に人権文化センター、青年
センターなどを統合した多様な機能
を備えた、誰もが気軽に集まること
ができる居場所づくりを行います。

市営住宅の集約に伴う 跡地活用・活性化

市営住宅の集約化に伴い生
じる余剰地（跡地）について、都市公園の整備や民間
住宅等の誘致を行い、若者
世代の流入活性化を行います。

池上小学校、幸小学校 の跡地活用

小学校やその周辺敷地を活用して
防災機能を備えた、公園・広場機
能や地域活性化に資する検討を行
います。

人権文化センター敷地での跡地活用

信太山駅

人権文化C
跡地活用

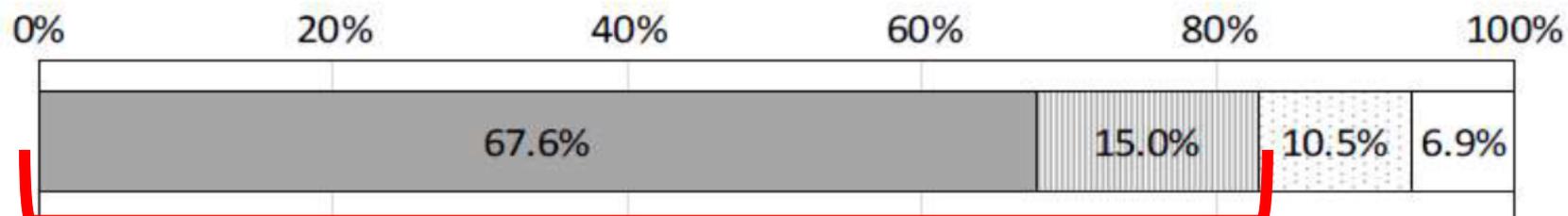
人権文化センター敷地での跡地活用

跡地活用

跡地活用

(アンケート調査) 令和元年12月実施

問7 プロジェクト2「学校・教育魅力づくりプロジェクト」について



82.6%

- 「学校・教育魅力づくりプロジェクト」をこのまま進めてほしい
- 概ね賛成だが、進める上で意見がある
- この内容では「学校・魅力づくりプロジェクト」を進めてほしくない
- 不明

(調査対象)

富秋中学校区及び伯太団地・王子団地・王子第二団地に住む5,140世帯のうち、無作為抽出した2,200世帯に調査票を配布。

(回収数)

配布数：2,200 回収数：306 回収率：13.9%

こうした方向性のとりまとめにあたっては

1. 平成29年度より、まちづくり検討会議をスタートしました。（これまでに、16回開催）
2. 施設一体型の小中一貫校に関して子育て・教育部会を11回開催しました。
3. 令和2年度より、ミライの学校を創るプロジェクトを開催しました。（これまでに3回開催）

※その他、3回の地域説明会を開催しました。

今後の進め方について

1. 説明会終了後、
中学3年生以下の子どもをもつ保護者へ
アンケート調査を実施します。
2. アンケート調査結果を踏まえ、
和泉市適正就学対策審議会へ諮問します。
(12月～3月)
3. 施設一体型の小中一貫校とする答申を得れば、
新校舎の構想、教育内容の検討等に着手して
いきます。

●答申後のスケジュールイメージ

※あくまでも令和2年度に合意形成がなされた場合の最短のイメージであり、変更となる場合があります。

令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年
基本計画 策定	設計業務		施工業務			令和9年4月 開校
学校開校準備委員会						

- 令和3年度からは、学校の設計・施工などと並行して、保護者や地域の方々が参画する学校開校準備委員会を設置し、新しい学校における検討事項について、意見交換を行っていきます。

(主な検討事項)

- 学校名
- 制服
- 校章
- 学校設備
- 教育内容
- 通学対応
- 校歌
- P T A関係など

施設一体型の小中一貫校とは

和泉市では

1. 全ての中学校区で小中一貫教育を実施しています。
2. 施設一体型の小中一貫校として、平成29年に南松尾はつが野学園が開校しました。

【校舎】



【ランチルーム】



【体育館】



3. 槇尾中学校区においても、方針決定済み今年度より新校舎建設の設計に着手しています。

施設一体型の小中一貫校で実践されること

1. 管理職は、現在の2名体制から、校長一副校長一教頭2名など4名体制となります。
2. 小学校・中学校の教職員が1つの学び舎でより多くの職員が子どもたちを見守ります。
3. 9年間の系統的な教育を実践し、小学校から中学校への円滑な移行を図ります。
4. 小学校教員が中学校になった生徒を継続してケア
中学校教員が小学生児童をあらかじめ見守ります

施設一体型の小中一貫校で実践されること

5. 小学校段階から、中学校教員による英語などの一部教科担任制が実施されます。
6. 小学校の段階からの部活動の参加ができるようになります。（南松尾はつが野学園は5年生から参加）
7. 合同給食、上級生による読み聞かせなど多様な異学年交流で、上級生の自己有用感の向上や下級生の憧れを育みます。



南松尾はつが野学園の様子は？

南松尾はつが野学園PTA役員の主な意見

良さを感じる点

- 人数が増えて、色々な同じ年の子とふれ合えるようになり、友だちも増えた。
- たてわり活動が充実しており、低学年が高学年に抱くあこがれや高学年の低学年への思いやりが育っている。
- 中1ギャップがない。
- 前期課程から部活動に参加できるのが良い。
- 後期課程の先生が関わってくれる。上の学年に上がった時の不安がない。
- 前期課程の先生が後期課程の授業をのぞいてくれるのも良い。
- 小中の子どもがいる場合、参観など1回で済むので負担が減った。

デメリットを感じる点

- 9年間同じ環境にいるので、後期課程(中学生)としての意識面が弱いと感じる。
- テストの時など、後期課程に気をつけて過ごすこともある。

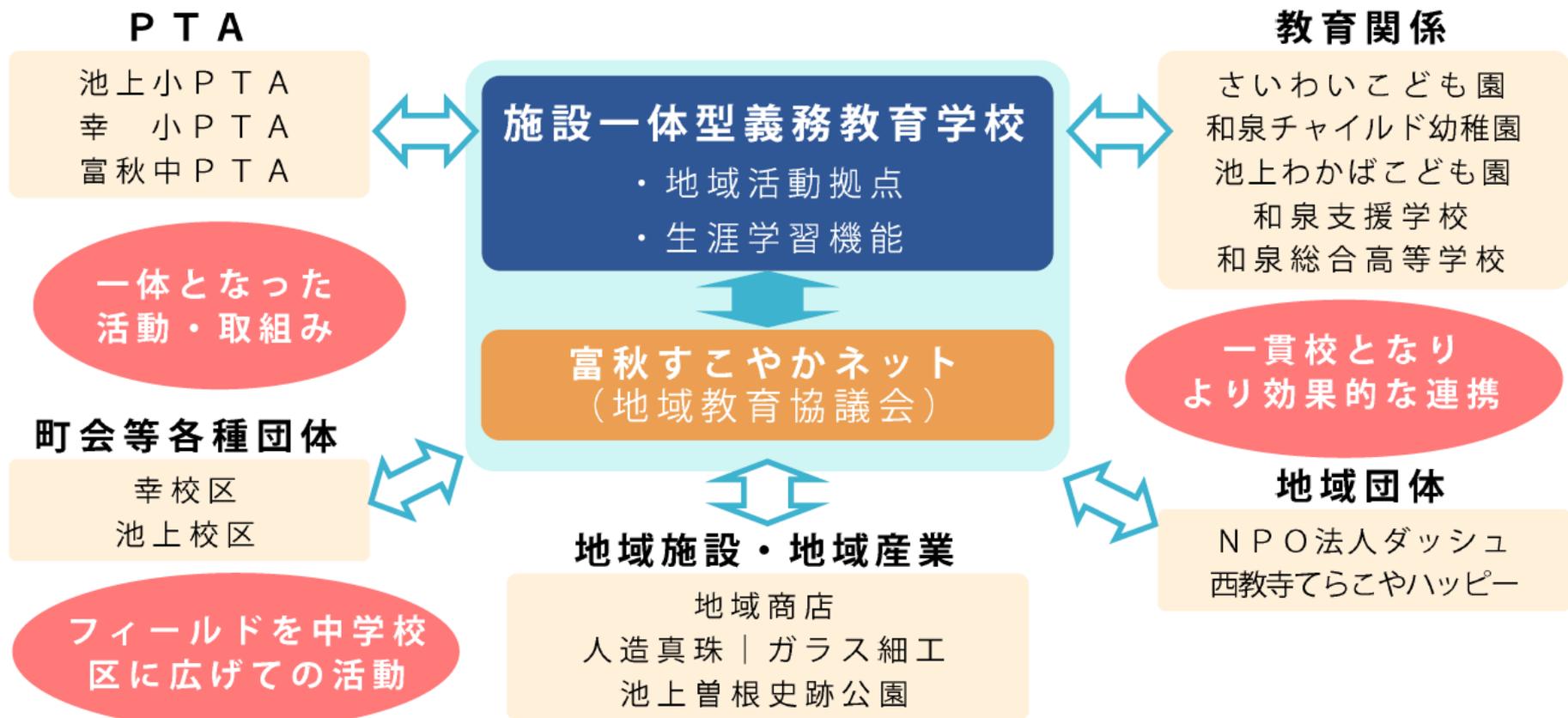
富秋中学校区の小中一貫校イメージ

富秋中学校区の小中一貫校での新たな展開

1. 小学校段階では、児童数が増加
遠足、運動会など学校行事に広がりがあります。
2. 校区の広がりを活かした「地域とともにある学校」をめざし、これまで以上に地域全体で子ども達を見守り、育む学校とします。
3. まちづくり事業と連携した取り組みを進めることにより、若者世代の流入による児童生徒数の確保を図っていきます。
4. 新しい取り組みだけでなく、
既存の有意義な取り組みも継承していきます。

富秋中学校にて想定する取組み

「地域とともにある学校」として



地域で子どもたちを育てる教育環境イメージ

【地域とともにある学校として】

学校図書館のイメージ例



- △ 小中が一体的に活用できる
学校図書館
- △ 読書センター・学習センター・
情報センターとしての機能を整備
- △ 多用途活用可能な施設として

- ▽ 地域の方も活用可能な図書館
- ▽ にじのとしょかんの取り組み
の継承
- ▽ 学校(児童生徒)と地域の交流拠点
として



不安に感じることなどへの対応

①現在の学校の様子

「つながる」教育活動

朝の検温＋会話



『あなたの声・気持ちをきかせてください。』緊急アンケート

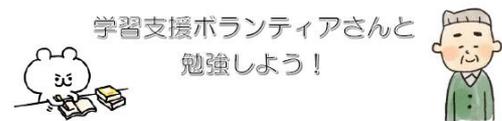
『あなたの声・気持ちをきかせてください』
富秋中学校 緊急アンケート 2020年5月

1回目のアンケートから3週間がたちました。休校期間も延長になり、あなたの気持ちにも変化があると思います。そんなあなたの心や気持ちの変化を、少しでも力になればと思っています。答えられるところだけでいいので書いてください。

- あなたの名前 _____年_____組 名前_____
- あなたは、前回のアンケート以降、いつもは学校に通っている時間に、どこで・だれと・なにをして過ごしていますか？
- 休校期間が延長になりましたが、何かこまっていること、心配なことや気になっていることがあれば教えてください。(自分のこと、家族や友達のこと、まわりなことなどなんでもいいです)

○4月・5月の計2回、アンケートを実施しました。
 ○大きな変化がないか、生徒全員に個人面談を実施しました。

富秋中学校応援団



学習支援ボランティアさんと勉強しよう！

休業が終わり「勉強をがんばりたい！」とか「今年はがんばるねん」という気持ちがおきていていると思います。

そのやる気で地域の学習支援ボランティアの方々と勉強してみませんか？

★学習支援ボランティアとはみんなの自主学習のお手伝いをしてくれる人です。

授業でやったプリントを復習したり、提出物の仕上げをする場所を開いてくれます。

これは1・2年生対象の取り組みです。

場所：ひまわり2の教室

勉強をする日： 毎週水曜日

時間：午後3時30分から5時まで

やってみようという人は下記の申込用紙を保護者の方に書いてもらい、自分でがんばりたいことを書いてください。担任の先生に提出です。

ボランティアの方々の協力のもと、放課後の学習支援で自学自習力の向上を図りました。



●社会性測定用尺度及び生徒アンケート結果 (富秋中学校の生徒を対象)	H 2 9		R 1
①自分にはいろいろ良いところがある	25.4%	→	48.9%
②家で学校の授業の復習をしている	36.4%	→	62.0%

学園づくり担当を創設

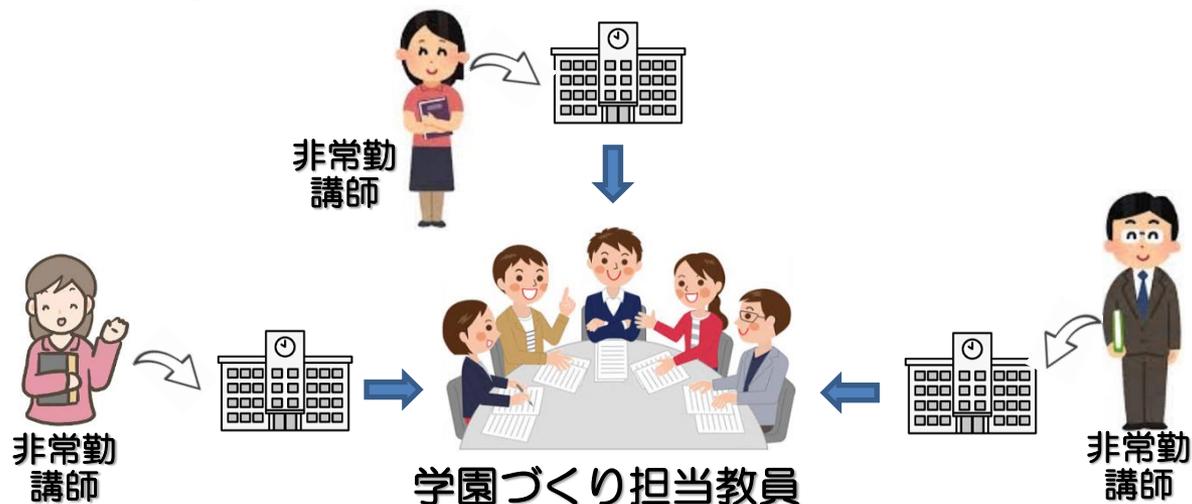
→ ITSとみあき学園（富秋中学校区の愛称）として**一体的な教育**を企画・推進するため、**学校間の連携等**を担う担当を池上小、幸小、富秋中の3校に創設しました。

→ **定期的にミーティング**を行い、**取組みや交流活動等**について**計画を立案**します。

&

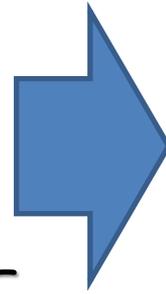
非常勤講師を配置

→ 「学園づくり担当教員」が担当業務を行うにあたって、**児童生徒の学習活動や学校運営に影響がないように**、**非常勤講師**を配置しています。



学園づくり担当教員や非常勤講師の配置による効果

- 3校連携の推進
- 情報共有の促進
- 児童生徒への支援が細やかに



3校が連携したより良い教育環境の整備や教育活動の推進が図られています。

キャリア教育の推進

中学校卒業までの連続性のあるものとするため、3校で共通の「キャリア・パスポート」を活かした学習活動の計画を進めています。

キャリア・パスポート

名前		
和泉市立 小学校		
和泉市立	1年	組 番
	2年	組 番
	中学校	3年 組 番
学校名	1年	組 番
	2年	組 番
	3年	組 番

CAREER PASSPORT



学校がよい雰囲気に進んでいることを積極的に発信し、不安に感じることを解消していきます。

②小中一貫校になることで
学校の先生の人数はどうなるの？

(教員数のイメージ)

現在のまま、各学校で1学年、1クラスの状態であれば、

各学校の先生の定数は、11～13人(1校あたり)になります
が、



施設一体型義務教育学校(小中一貫校)になり、

1学年2クラスが確保されれば、

新たな学校の先生の定数は、38人になり、
より多くの先生と子どもたちが関わりあえる学校が実現されま
す。

※現時点では、0歳から5歳の子どもについて概ね各年齢が50人を超過し
ており、各学年2クラスとなる可能性があります。

③学校校舎はどうなるの？

(校舎等のイメージ)

- 新校舎は、現富秋中学校の敷地を活用します。
- 校舎は新築します。
- 「地域とともにある学校」として、
地域との交流、地域の学校教育への参画
などに備えたスペースづくりも想定しています。

④通学路はどうなるの？

通学対応の検討(例)

幸校区



【気になる点】

線路の横断

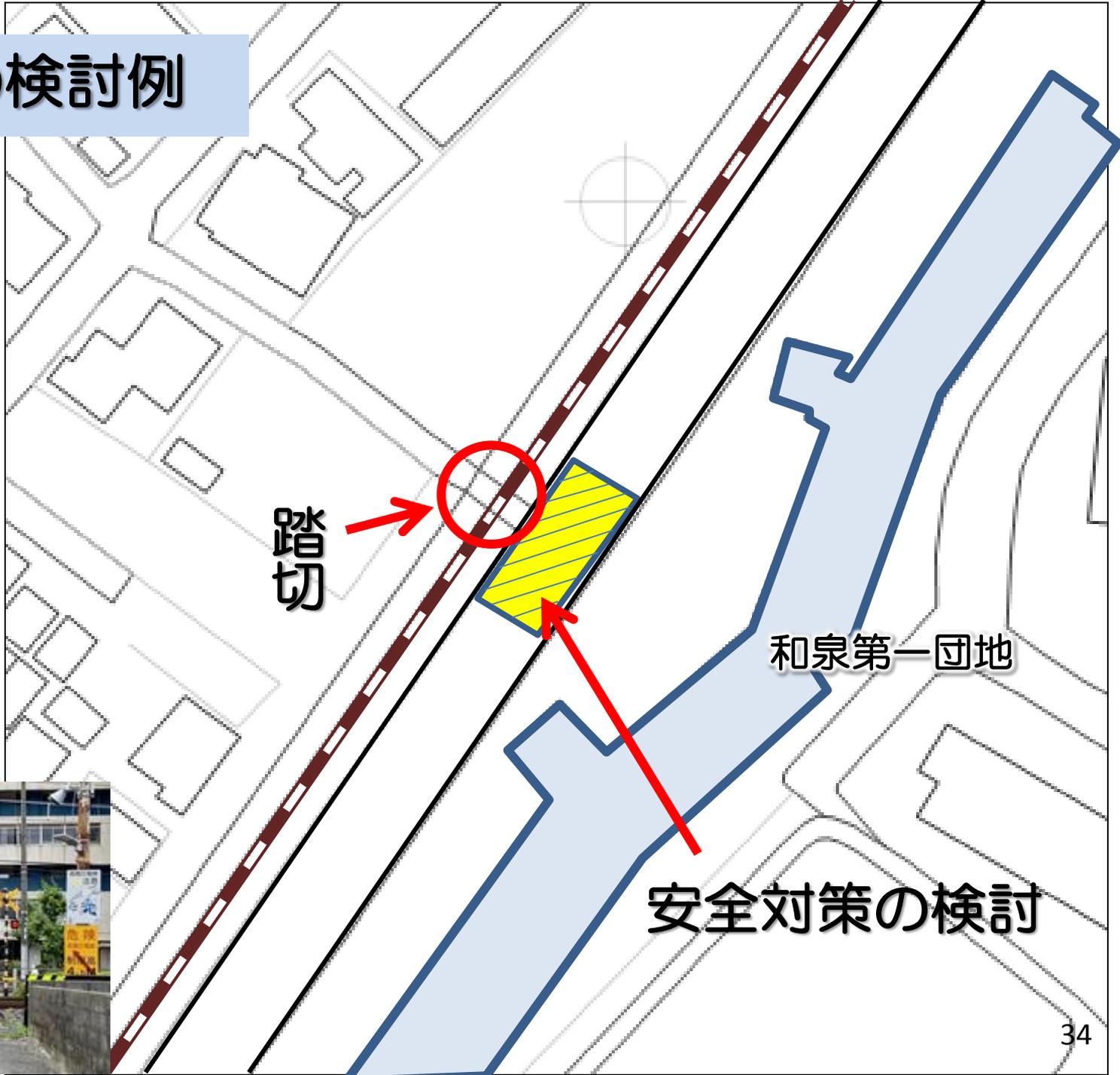
線路の前に待機
するスペースがない

通学対応の検討(例)

幸校区

- JRを横断する歩道橋の要望もありますが、現時点で確約はできることではありません。
- 歩道橋の検討だけでなく、子ども達の安全確保が可能となる横断対策について関係部局や庁外の関係機関と検討していきます。

踏切対応の検討例



通学対応の検討(例)

池上校区



【気になる点】

道幅の狭さ

交通量の多さ

通学対応の検討(例)

グリーンベルトやカラー舗装の工夫
ラバーポール等による歩道確保
既存防犯カメラの移設
道路標識の整理



⑤施設一体型の小中一貫校になることの
メリット・デメリットは？

施設一体型の小中一貫校は、完璧なものではありませんが総合的に教育環境の向上につながるものと考えています。

不安・心配に感じる事	小中一貫校で期待されること
<ul style="list-style-type: none">• 少人数で先生が1人1人をみってくれる、今の小学校に不満はなく、このままで良い。• 今の学校は生徒と教員の距離が近く親身で保護者とも連携が取れている• 小学校6年生の最高学年としての意識が薄れる• 教員の負担が増えて、子どものケアが不足しないような対策が必要• 歴史ある学校がなくなるのがさみしい	<ul style="list-style-type: none">→ 集団活動や様々な行事が充実→ 多様な意見にふれ、切磋琢磨する機会が充実→ 担任の教材研究が深めやすくなる→ 複数で学年を見守ることが可能に→ 校外学習などでのバス代の負担が軽減→ PTAが1つとなり活動の充実が図られつつ、保護者の負担が軽減→ 町会等、地域との関わりも多様に

⑥就学区域は？

【富秋中学校 就学区域変遷】

	～昭和50年	昭和51年～	平成14年～
池上町	和泉中	富秋中	富秋中
富秋町	信太中	富秋中	富秋中
幸町	山手中	富秋中	富秋中
葛の葉町	信太中	富秋中	富秋中(信太中)



新校開校後
施設一体型 小中一貫校

幸小学校区、池上小学校区の児童生徒は、

小学校の入学段階から、新しい施設一体型の小中一貫校に通学することになります。

葛の葉町の児童生徒は、

現在、小学校は、信太小学校で、中学校進級時には、富秋中学校と信太中学校の選択を可能としていますが、



新しい施設一体型の小中一貫校が開校されれば、



小学校入学時に、新たな施設一体型の小中一貫校が信太小学校・信太中学校を選択できる方向で検討しています。



様々な意見がありますが、それらをしっかり収集し、最終的には適正就学対策審議会にて答申を求めていきます。

学校の跡地利用・防災機能

池上小学校

跡地利用	校舎等は除却し、民間事業者への売却又は貸付を行い、まちに必要な機能を確保します。 一部、広場機能、 老人集会所 用地を確保の検討し、その他、 町会館用地 としての地域への売却検討します。
防災機能	確保した広場に防災機能を確保します。



幸小学校

跡地利用	校舎等は除却し、まちに必要な機能を確保します。
防災機能	近接する市営住宅の跡地に都市公園を整備し、防災機能を確保します。

※現 旭公園の移転先として、
新たな都市公園を整備
します。



その他の学校に関連する施設等について

●にじのとしょかん

にじのとしょかんについては、和泉第一団地に整備する多世代交流拠点施設と施設一体型の小中一貫校等との連携も視野に入れて検討します。

●どろんこ子ども会

どろんこ子ども会については、施設一体型の小中一貫校開校時に実施予定の留守家庭児童会（仲よしクラブ）に機能統合します。

ミライの学校を創るプロジェクトメン バーからの一言

本日の説明は以上となります。

ご清聴ありがとうございました。

メール登録で 情報をお届け! & ご意見をお寄せください!

メール登録をしていただければ、富秋中学校区の新しい学校の検討についての情報を受け取ることができます。また、みなさんからのご意見もお寄せください。

登録は下記アドレス宛て、もしくは下記QRコードを読み取っていただき、

氏名、「ニュースレター希望」を記載のうえ、ご返信ください。

【tomiaki@city.osaka-izumi.lg.jp】



(問合せ先) 教育・こども部 教育総務課 0725-99-8196